

悠久の時を刻む わかやま巡礼。

那智の滝(那智勝浦町)

日本の観光の原点には、信仰があった。つまり、観光の起源は巡礼の旅。なかでも庶民にまで広く浸透した最古の巡礼は、紀伊半島の山深き聖地を目指す「熊野詣」とされる。人々は熊野三山を目指し、熊野古道を歩いた。今年、創建1700年を迎える熊野那智大社は、そんな熊野詣の最終目的地。熊野本宮大社、熊野速玉大社とともに巡礼者たちが憧れた場所だ。

また、日本で最も歴史のある巡礼路・西国三十三所は、来年草創1300年。第一番札所である那智山青岸渡寺から紀伊半島を時計回りにぐるり旅しながら、いしへの巡礼に思いを馳せてみたい。

